2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(夜間部)		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	演習
科　目　名	診療画像検査学演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	前期	教室名	合同校舎エックス線実習室
担 当 教 員	石本健、山本由紀	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

X線撮影における診療価値の高い画像を提供するため、撮影部位ごとのポジショニングを理解する。
患者が検査室に入室からポジショニングまでの患者対応などを熟知する。
模擬人体を用いてX線撮影法を実習する。

《成績評価の方法と基準》

出席評価、受講態度(私語厳禁)、事前学習の取組状況、課題レポート内容などを総合的に評価する。
①素点(課題レポート)　60%
②出席評価点　20%
③平常点(授業へ取組む姿勢)　20%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

参考図書 「X線撮影技術学」 編:安藤英次
「図解上肢撮影法」 編:高倉義典　「図解下肢撮影法」 編:高倉義典
「図解骨盤股関節撮影法」 編:高倉義典

《授業外における学習方法》

実習する撮影部位を使用して当日は実技を行うため、前日までに手順を十分に理解しておくこと。
また、実習時間内に作成出来なかったレポートは期日までに提出出来るよう、作成を行う。

《履修に当たっての留意点》

撮影体位や肢位から臨床画像へ有用性をの評価へ導く。
学内実習は病院実習に向けての演習も兼ねているため、注意事項を熟読し、規則に準ずること。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	X線撮影装置と撮影台の基本的な構造と特徴を理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	X線撮影装置と撮影台の装置の取り扱い。		
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	患者に優しく再現性のある基本的な撮影体位や肢位と、患者への安全を考慮した移動法を理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	患者にとって安全で再現性のある撮影肢位を理解する。		
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	頭部のX線撮影における基本的な体位や基準線・ポジショニングを理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	X線撮影の基準線・基準面・基準点や解剖学的断面		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	肩関節のX線撮影における投影されるX線画像を理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	＜レポート作成＞ ・X線画像によるX線解剖図作成 ・X線画像から3次元的投影図を作成		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	肘関節の撮影法や撮影基準線・ポジショニングを理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・肘関節の撮影基準線、X線中心点や入射角		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	手関節の撮影法や撮影基準線・ポジショニングを理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	＜レポート作成＞ ・Ｘ線画像をトレースしＸ線解剖図作成 ・関節の3次元的投影図を作成		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	胸部撮影の撮影法や撮影基準線・ポジショニングを理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・関節の撮影基準線、Ｘ線中心点や入射角		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	腹部Ｘ線撮影撮影法や撮影基準線・ポジショニングを理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	＜レポート作成＞ ・Ｘ線画像をトレースしＸ線解剖図作成 ・関節の3次元的投影図を作成		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	骨盤X線撮影の撮影法や撮影基準線・ポジショニングを理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・骨盤の撮影基準線、Ｘ線中心点や入射角、Ｘ線計測線		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	股関節X線撮影におけるＸ線画像を理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	＜レポート作成＞ ・Ｘ線画像をトレースしＸ線解剖図作成 ・股関節の3次元的投影図を作成		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	頚椎のX線撮影の撮影法や撮影基準線・ポジショニングを理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	＜レポート作成＞ ・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・頚椎の撮影基準線、Ｘ線中心点や入射角		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	腰椎の撮影法や撮影基準線・ポジショニングを理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	＜レポート作成＞ ・Ｘ線画像をトレースしＸ線解剖図作成 ・腰椎の3次元的投影図を作成		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	膝関節のX線撮影の撮影法や撮影基準線・ポジショニングを理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	＜レポート作成＞ ・代表的な疾患につながる臨床画像の評価 ・膝関節のＸ線画像をトレースしＸ線解剖図作成		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	足関節のX線撮影におけるＸ線画像を理解する。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	＜レポート作成＞ ・Ｘ線画像をトレースしＸ線解剖図作成 ・足関節の3次元的投影図を作成		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	撮影のまとめ。	教科書 配布資料	実習終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	・撮影法や撮影基準線・ポジショニングを確認する。		